

機能確認票

下表の要件について、次の選択肢からあてはまる状況を機能状況欄に記入してください。なお、「a」を選択する場合は、要件及び詳細要件・補足説明に記載するすべての項目があてはまることとします。必須項目に○が付いている要件は、cを選択すると失格になります。

【選択肢】a: 予定額内・可能（標準装備）

b: 予定額内・可能（オプション、カスタム）

c: 予定額内・不可能、システム上不可能

d: 予定額を超えるカスタマイズで可能

A：基本事項（No. 1～16）

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
1	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	施設職員・管理者側 ともに 別紙1 仕様書のとおり	○	
2	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	利用者側環境：インターネットで動作すること。 管理者側環境：インターネットで動作すること。 インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。	○	
3	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・利用者が登録するデータは、デバイス内には保有せず、サービス提供クラウド環境（データセンター内）でデータを保有すること。 ・情報資産は発注者が指示しない限り日本国内に保管されること。	○	
4	データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・バックアップ環境：指定した場合を除き全て日本国内であること。 ・サイクル（間隔）：週次（日曜日） ・保有世代数（保有期間）：4世代（4週間分）	○	
5	サービス利用者の端末故障時や機種変更時のデータ引継ぎが配慮がされていること。	－	○	
6	個人情報の管理に関する対策を実施していること。	－	○	
7	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	15,000～30,000人程度	○	
8	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	200人程度	○	
9	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	－	○	
10	「JIS X8341-3：2016」等のアクセシビリティに配慮していること。	－		
11	指定する言語に対応すること。	ブラウザの多言語変換機能への適用も可とする。		
12	現行システム（サービス）で保有するデータを、新システム（サービス）の初期データとして移行（登録）できること。	特に、年度単位で登録されている年間予約情報については、本市が提供するデータ（CSV、Excel等を想定）または現行システムから抽出したデータを基に、受託者が新システムへ正確に登録すること		

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
13	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—	○	
14	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	データ消去後に、当該データを保存していた記憶装置の物理的破壊を行うとともに、そのエビデンスを提出すること。	○	
15	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）を取ることができること。	—	○	
16	プライバシーポリシーを表示すること。	—	○	

B : 利用者向け機能 (No.17~45)

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
17	利用者情報や利用者アカウントを登録・設定できること。	—	○	
18	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	—		
19	マイナンバーカードの公的個人認証サービスを用いたログインにも対応すること。	クロスIDの連携が可能で、将来的に「my door OSAKA(マイド・ア・おおさか)」との連携が検討可能であること。		
20	利用者自身がアカウント情報の修正を行えること。	—	○	
21	利用者自身がアカウント情報の削除申請を行えること。	—	○	
22	施設の種類、設備、利用目的、施設の地区などの条件で施設情報や空き状況を検索できること。	・日付、時間、曜日、週、施設名、利用目的、地域等の条件により情報を横断的に検索することができること。	○	
23	施設を一覧で表示し、施設名、住所、連絡先などの施設情報を確認できること。また、施設情報はログインせずに確認できること。	・施設情報として、施設名、住所、連絡先、地図等の基本情報に加え、施設の画像、利用案内、アクセス方法、料金体系、施設からのお知らせ、問い合わせ先等を掲載できること。 ・施設のホームページへのリンクを設定できること。	○	
24	施設の空き状況を確認できること。また、空き状況はログインせずに確認できること。	・空き状況等として、次の状態が表示できること 「予約済」「受付前」「抽選受付」「空き」「利用不可」等 ・空き状況のみ公開している場合は、その旨を表示できること ・施設の空き状況は、月別・週別・日別に表示できること。日別表示では、タイムスケジュール形式で表示できること ・予約できない期間や時間帯が分かりやすく表示できること ・カレンダーの日付を選択することにより、選択した日付の空き状況を直ちに表示できること	○	
25	予約の申込・取消・変更、抽選申込等が可能であること。予約の申込等は、ログインした後に可能とすること。	—	○	
26	施設情報や空き状況確認画面から予約申込機能に遷移できること。 なお、ログインしていない状態の場合は、ログインさせた後、予約申込機能に遷移すること。	—	○	
27	予約申込の際は、利用施設、利用日時、利用目的、利用人数などを入力し、申込ができること。	申込時に入力が必要な主な情報は次のとおり。 利用施設、利用日、時間、利用目的、営利活動の有無、利用人数、支払方法、料金区分、町内町外利用者の内訳 など	○	
28	複数のエリア・スペースや時間帯、利用日を同時に予約できること。	—	○	
29	利用者情報や、過去の予約情報から転記する等、予約申込を補助する機能があること。	—	○	
30	備品や設備（照明や冷暖房設備など）を併せて予約できること。	—	○	
31	申込完了前に予約内容を確認できること。	申込時に、施設ごとの利用上の遵守事項を表示できること。また、利用者は遵守事項に同意しないと予約申込ができないこと。	○	
32	予約内容に応じた利用料が計算され表示されること。	—	○	
33	利用者が予約している内容を表示できること。	予約状況確認で確認できる項目は次のとおりとすること。 施設名、室場名、日時、利用目的、利用人数、使用備品、備考、金額など	○	
34	予約のキャンセルや変更等が可能であること。	—	○	

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
35	抽選対象となる施設への抽選申込みができること。	—	○	
36	抽選の申し込み内容の確認や取り消しができること。	—	○	
37	抽選枠ごとに抽選申込件数が確認できること。	—	○	
38	抽選結果が確認できること。	—	○	
39	当選した場合、自動的に予約確定処理を行うか、または予約確定の操作などが行えること。	—	○	
40	利用料の決済について、オンライン決済が可能であること。	<p>選択できる決済方法は、次の決済（納付）方法に対応すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード ・コンビニ支払い <p>施設毎にオンライン決済の使用可否、決済方法の選択が出来ること。</p> <p>将来的な決済方法の拡張が可能なシステムであること。</p>	○	
41	同一の利用者・団体等から複数の予約分の利用料をまとめて収納できること。	—	○	
42	利用者画面において、自治体や施設からの各種お知らせを表示できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・全利用者へ共有のお知らせを表示できること。 ・施設ごとのお知らせを表示できること。 	○	
43	施設側で指定した許可書等の帳票をダウンロードできること。	<p>ダウンロード可能な帳票は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・許可書、請求書、領収書など 	○	
44	利用者に操作方法を示すことができること。	—	○	
45	問い合わせを行うことができること。	<p>問い合わせ方法は次のいずれかの方法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ先のメールアドレスを記載すること 	○	

C : 管理者向け機能 (No.46~118)

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
46	管理者アカウントの登録・変更・停止・削除ができること。	—	○	
47	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	—		
48	管理アカウントごとのルール設定ができること。	—	○	
49	利用者情報を一覧表示できること。	一覧表示する条件（抽出、表示順序）を指定できること。	○	
50	管理者システム上で、利用者・利用団体の登録・変更・削除が可能であること。	・利用者情報として登録する情報は、次のとおり 個人利用者の場合： 氏名、住所、生年月日、電話番号、メールアドレス、減免区分の情報、など 団体利用者の場合： 団体名、代表者および連絡担当者それぞれの氏名、住所、生年月日、電話番号、メールアドレス、減免区分の情報 など	○	
51	利用者の有効期限の設定および更新ができること。	—	○	
52	利用者のシステム利用を一時的に停止できること。	—	○	
53	同一名の団体・利用者の二重登録を防止できること。	—	○	
54	利用者登録証の発行・再発行が可能であること。	—	○	
55	利用者自らが、団体情報の登録について電子申請が可能なこと。	—	○	
56	利用者自らが、団体情報登録の電子申請を行う際、構成員名簿や活動概要等の資料が添付できること。	—	○	
57	団体登録の電子申請に対して、職員は審査ができ、審査結果として、承認、仮承認、差し戻しのいずれかを職員が設定できること。	—	○	
58	団体がどの利用者グループ（公民館、スポーツ施設等）に属するか設定できること。 この利用者グループごとに、料金プラン、予約可能期間、申込可能施設、が設定できること。また、利用者は複数の利用者グループに属せるよう設定できること。	—	○	
59	団体の利用者グループ設定期間に対して、有効期限を設定できること。	—	○	
60	利用者グループごとに、担当部署または施設を設定でき、その所管部署または施設の職員が利用者登録の申請内容を確認でき、審査ができること。	—	○	
61	施設についての情報を登録・変更・削除ができること	・施設情報として登録したい情報は次のとおり 施設名称、住所、利用目的、施設内容、料金体系、開館日、開館時間、紹介文、駐車場の有無（台数）、利用者向けWEBサイトへのリンク など	○	
62	施設情報を変更する際は、変更した情報を適用する日程を事前に設定できること。	—		
63	施設のグループ区分を設定でき、複数の施設をグループごとに管理できること。	—		
64	施設グループごとに閲覧・更新等の権限設定が可能であること。	—		

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
65	施設ごとに、公開区分（非公開、案内情報のみ公開、空き状況まで公開、予約受付等）の設定がで	—	○	
66	施設ごとに備品や冷暖房・照明等の設備の設定ができること。	—	○	
67	施設の閉館日・休館日等のスケジュールを登録できること。	・閉館日、休館日等のスケジュールは、パターンとして、特定日、毎年日、毎月日、曜日、第何週曜日から指定して一括登録できること。	○	
68	施設ごとに、予約枠数、枠ごとの時間範囲、個別の予約不可日時等を設定することができること。	・予約枠ごとの時間の設定は、時間単位、分単位で任意に設定できること。 ・時間単位の場合、最小時間を30分として予約ができること。	○	
69	施設ごとに貸出を行うエリア・スペース等の単位の設定ができること。	・エリア、スペースごと等、貸出単位(面分割の有無)の設定ができること ・貸出単位ごとに申込方法（先着予約、抽選予約、優先予約等）の設定ができること	○	
70	利用者区分や利用者個人毎に貸出利用可能な施設を設定できること。	—	○	
71	施設ごとに予約方法（ネット予約・窓口予約）や抽選の有無（有の場合、抽選期間、抽選日、確定期間）等を設定できること。	—	○	
72	施設ごとに予約時に入力できる項目が設定できること。	・施設ごとに、利用目的の登録ができること。 ・入力する（選択できる）利用目的を、設備毎に設定できること。 ・施設ごとに、予約時に入力できる項目が設定できること。 ・予約申し込み時に、イベント情報や連絡事項等を入力できる備考欄を設定できること。	○	
73	施設ごとに予約申込・抽選申込可能な期間の設定が可能であること。	—	○	
74	利用者属性（個人／団体や、市内／市外等）による予約・抽選の可否や予約申込期間を施設ごとに設定できること。	—	○	
75	施設・期間ごとに予約申込件数の制限が可能であること。	—	○	
76	施設ごとに最大・最小利用人数制限、1施設利用者あたりの予約回数制限が設定ができること。	—	○	
77	連続した日数または時間の利用については上限を設定する等して制限できること。	—	○	
78	施設ごとに変更及びキャンセル時受付期間を制限できること。	・変更及びキャンセル申込時の利用料の還付条件、還付率等を設定することができること。	○	
79	事前払いの予約に対して、設定された納付期限までに支払いが無い場合は自動でキャンセルすること	—	○	
80	施設の予約状況について一覧で確認できること。また、条件検索なども行えること。	・一覧には施設名、利用者名、利用時間、利用目的、予約申込日、予約状況、収納状況、抽選状況などが表示されること。 ・上記の項目ごとに絞り込み検索できること。 ・未納となっている予約を一覧でき、手動による取消もできること。	○	
81	抽選予約の状況を一覧で確認できること。	—	○	
82	施設ごとや利用者ごとに過去の利用状況を検索できること。	・検索条件として次の項目で検索できること。 氏名・代表者名・連絡者名・団体名・利用者ID など ・あいまい検索や部分検索が可能なこと	○	

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
83	予約情報の登録・変更・削除が可能であること。	・予約の一括登録・一括削除が可能なこと。	○	
84	抽選予約に申込できる利用者属性やコマ数、予約件数などの制限ができること。	・施設ごとに、抽選や予約の申込の件数またはコマ数を、日単位・月単位で、設定することが出来ること。 ・抽選予約の申込について、日別/月別に、コマ数や予約件数での制限ができること。 ・施設ごとに、1施設利用者あたりの抽選申込数、年間の当選回数を限定できること。 ・利用者区分等により抽選に参加可能として登録された利用者だけが申込できること。	○	
85	抽選を自動または手動で行い、当落判定できること。	・抽選は、予め定めた日時に自動的に処理を行うことができること。 ・自動抽選の処理が行われたことを担当者が確認できること。	○	
86	抽選予約申込者に対し、抽選結果を通知ができること。	—	○	
87	職員による予約の代行登録が行えること。代行人力の際には、登録を補助できる機能があること。	・複数コマ・日時の一括登録ができること。	○	
88	職員が代行登録中に、他の職員またはネット予約ができないよう、排他制御がかかること。	—	○	
89	施設に設定された予約期間に関係なく管理者権限により予約が登録できること。	—		
90	予約登録時及び予約取消時に受付者名の入力等ができ、後で誰が受け付けたかの確認ができること。	—	○	
91	利用者・利用内容等を特定しないで枠を押さえる仮押さえが可能であること。	—	○	
92	審査を経て予約確定する運用を可能とすること。可能の場合、審査・承認・承認取消が可能であること。	—	○	
93	予約履歴（名称・日時等の情報）の確認が可能であること。	—	○	
94	施設ごとに施設の利用料や備品・設備の利用料が設定できること。	—	○	
95	施設ごとに、曜日別、時間割別等に利用料の設定ができること。	—	○	
96	施設ごとに、利用者属性や利用目的等による利用料の設定や加算減算の設定ができること。	—	○	
97	延長料金の加算・設定ができること。	—	○	
98	施設ごとに、休日料金や夜間料金など複数の料金を管理できること。	—	○	
99	使用キャンセル料金を施設及び期間毎に設定できること。	—	○	
100	施設の利用料及び備品・設備等の利用料の計算が自動でできること。あわせて、自動計算で算出された利用料を修正できること。	・障害時等の備えとして、自動計算で算出された利用料を修正できる機能を有していること。	○	
101	施設毎に料金の端数処理の設定が出来ること。	—	○	

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
102	対応する支払方法を設定できること。	クレジットカード・現金払い	○	
103	クレジットカード払いを行う場合は、EMV 3-Dセキュアに対応していること。	—		
104	予約ごとに収納状況の確認、収納消込を行うことができること。	—	○	
105	利用日を基準とした収納状況を検索し、一覧表示できること。	—	○	
106	予約ごとに納付期限の設定ができること。	—	○	
107	追徴・還付の管理が可能であること。	—	○	
108	利用料について、何らかの事由により調整を行う必要があった場合に、差額分の追加徴収や、還付、充当など、柔軟に処理できる機能を有すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンセル料率に応じた還付処理ができること。 ・オンライン決済の場合に還付処理がオンラインで完結できること。 ・追加徴収、還付、充当処理を行った理由の記録ができること。 	○	
109	施設ごとに利用料の減額または免除が可能であること。	<ul style="list-style-type: none"> ・申請減免の減免率を設定することにより、利用者が施設の予約申込時に減免の申請を行い、施設利用料を減額または免除することができること。 ・減免パターンは複数設定でき、率による減免だけでなく、額による減免にも対応していること。 	○	
110	キャッシュレスで決済された予約については、利用が完了した日から14日以内であれば、料金変更及び予約の取り消しが管理者から可能なこと。	—		
111	利用実績を登録できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・予約情報に対して、利用実績（人数等）を登録できること。 ・利用不能となった場合（天候や施設都合等）に、その内容を記録できること。 		
112	利用者が利用後に利用実績やアンケート等を提出するための項目を施設ごとに設定し、予約ごとに利用報告等を受け付けられること。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対しては、利用後に自動で回答フォームが表示されること。 ・未回答の利用者に対しては、自動でリマインド通知が届くこと。 	○	
113	システム利用者へシステムの満足度アンケートが実施できること。	—	○	
114	施設ごとにお知らせを登録できること。また、表示期間を設定できること。	—	○	
115	施設からのお知らせや予約・キャンセル・変更、抽選申込、抽選結果などの通知を利用者に対して配信可能であること。	—	○	
116	利用者へ送信する各種通知の件名や文言を職員が設定できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・メール本文等には、予約内容（予約日時、予約施設名等）を表示させることができること。 	○	
117	システム内のメッセージ機能によって、利用者に個別メッセージおよびメールを送信できること。		○	
118	システム内のメッセージ機能によって、利用者に個別で送信されるメッセージにはpdf等のファイルを添付できること。			

D : その他 (No.119~125)

NO.	要件	機能内容	必須項目	機能状況
119	システムに登録されている情報を集計処理を行い、施設ごとや利用者別などに統計情報を確認できること。	<ul style="list-style-type: none"> 施設ごとに、利用者別、利用区分別、月別、日付別、時間別などで利用件数や利用者数の集計ができること。 施設ごとに、日別、月別に、予約申込件数や抽選申込件数を、利用件数を申込方法ごと、利用目的ごとに集計できること。 施設ごとに、日別、月別に、収納還付額を集計できること。 集計処理の結果は、全てCSVファイル形式など汎用性の高いファイル形式で出力ができること。 	○	
120	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	<p>集計するデータは次のとおりとする。</p> <p>利用登録者数、登録団体数、アクティブ利用者数など</p>	○	
121	システムに登録されている各種情報や各画面機能等で処理した結果をCSVファイル形式またはExcel形式でデータ出力できること。	<p>システムに登録されている次の情報を統計情報としてCSVファイル形式またはExcel形式でデータ出力できること。</p> <p>利用者情報、予約情報、抽選情報、施設利用実績情報、決済情報、収納状況、還付状況、入出金状況 など</p>	○	
122	利用人数等の実績を予約ごとに報告ができること。	—	○	
123	施設ごとに、各種帳票のレイアウトや名称部分等の文言設定ができること。	—	○	
124	その他、利用者登録情報や利用予定票などの各種帳票の印刷ができること。	—	○	
125	帳票に印字する公印を施設ごとに登録管理できること。	—	○	